

令和8年度 理科 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

理科 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

理科 第3学年の目標

- (1) 日常生活で見られる物体の運動とエネルギー、生命の連続性、化学変化とイオン、地球と宇宙、自然と人間に関する事物・事象に着目しながら理解を深めるとともに、これらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- (2) 物体の運動とエネルギー、生命の連続性、化学変化とイオン、地球と宇宙、自然と人間について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、これらにおける規則性を見いだして表現する。
- (3) 物体の運動とエネルギー、生命の連続性、化学変化とイオン、地球と宇宙、自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。

第3学年年間指導計画（評価規準）

★ **知**は、知識・技能 **思**は、思考・判断・表現 **主**は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準		評価方法
4 ～ 6 月	運動とエネルギー <31 時間>	1 力の合成と分解 2 物体の運動 3 仕事とエネルギー 4 多様なエネルギーとその移り変わり 5 エネルギー資源とその利用	知	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート
			思	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	
			主	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
7 月 ～ 9 月 中 盤	生命の連続性 <22 時間>	1 生物のふえ方と成長 2 遺伝の規則性と遺伝子 3 生物の種類の多様性と進化	知	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート
			思	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	
			主	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

9 月 中 盤 ～ 10 月	化学変化とイオン ＜25時間＞	1 水溶液とイオン 2 化学変化と電池 3 酸・アルカリと塩	知	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト 探究レポート
			思	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	
			主	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
11 月 ～ 1 月 中 盤	宇宙を観る ＜25時間＞	1 宇宙の天体 2 太陽と恒星の動き 3 月と金星の動きと見え方	知	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 小テスト 定期テスト
			思	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	
			主	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
1 月 中 盤 ～ 3 月	自然と人間 ＜20時間＞	1 自然界のつり合い 2 さまざまな物質の利用と人間 3 科学技術の発展 4 人間と環境 5 持続可能な社会をめざして	知	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	授業観察 ノート 定期テスト 探究レポート
			思	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	
			主	自然と人間に関する事物・現象、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

余剰時間5時間は、理科の探究活動等にあてる。